

# 保育士の自己評価

社会福祉法人 鶴見乳幼児福祉センター

H27年10月作成→H30年4月改訂

市社協・保育福祉部会主催研修(H26年2月3日開催)

「保育所の自己評価」研修資料より抜粋

## \* 保育士のための自己評価 \*

### \* チェックシートの書き方 \*

- ① チェックシートに沿って自己評価をします。  
《評価の目安》 a … 十分わかる／十分出来ている  
b … おおむねわかる／おおむね出来ている  
c … あまりわからない／やや不十分  
d … ほとんどわからない／改善を要する
- ② 各項目の上段を1年目、中段を2年目、下段を3年目に使用します。
- ③ 特に具体的に取り組んだ項目や気づき等を右欄に記載します。

# チェックシート

## \* 生活

	評価基準	記入年	評価項目ごとの評価結果				具体的な取り組み及び考察
			a	b	c	d	
1	子ども一人ひとりの発達状況と子どものおかれている事情を理解し、保育を行っていますか。また、日々の健康状態を把握し保育していますか？	2018年	36%	57%	7	0	朝の受け入れ時、連絡ノート、引継ぎなどで把握している人が多数。 経験年数が少ない職員には把握がまだたりないとの意見があった。
		2019年	67%	33%			こまめに状連絡を取り状況を把握している・意識しているがまだ経験が足りないと感じる 登園時に親へ声掛け・連絡ノート・引継ぎによって子どもの健康状態を把握している
		2020年					
2	登園時に泣く子どもに対して、放っておいたり、叱ったりするのではなく、子どもの状況に応じて抱いたり、優しく声を掛けたりしていますか。また、自分の気持ちをうまく表現できない子どもの心情を汲み取ろうとしていますか。	2018年	79%	21%	0%	0	多数が状況に応じて丁寧に関わっている。また、可能な限りフォロー職員を入れて対応を図るようにしている【1名】
		2019年	75%	25%			受け入れ時は体調も併せて確認・子どもの気持ちに寄り添って声掛けやかかわりを行っている 泣いている子には必ず声をかける・気持ちを受け止め自分から切り替えられるよう見守っている 担当の職員だけではなく全職員で気に止めて声をかけている
		2020年					
3	保育室の換気や温度・湿度に配慮して保育していますか。	2018年	43%	50%	7	9	保育日誌に温度・湿度を記入し最低1回は確認する(多数) 感染が流行ったときは加湿器を利用している【1名】
		2019年	42%	58%			湿度計を活用。0.1歳児室では対応要・日誌に記入・子どもの活動によって調節している 湿度温度によって加湿器や除湿器を利用引き続き自分から行動する・空気清浄機・加湿器・除湿器は今後整備していく
		2020年					
4	乳児においては、継続的に同じ保育士との関わりが保てるよう配慮していますか。	2018年	29%	57%	14	0	乳児では担当保育者を決め安心して過ごせる様配慮している。(多数) 緩やかな担当制のため今後検討していきたい【1名】
		2019年	50%	50%			登板の時に自分から関わり関係を築いていく
		2020年					
5	食事の前の手洗いを励行する等、清潔習慣が身に付くように援助していますか。	2018年	36%	64%	0	0	発達や成長に合わせて援助している
		2019年	67%	33%			手洗い場に洗い場のイラスト・保育者も一緒に手を洗う・洗えるように援助している 一人一人に合わせて声をかけている・玄關に手洗い場を設けたが習慣づいてきている
		2020年					
6	子どもが残さず食べることを強制したり、偏食を直そうと叱ったりしていませんか。	2018年	36%	64%	0	0	残しても良いと伝えている。叱ったりしないが偏食については固めも多いと感じている【1名】 苦手な物は始めから減らし対応している(多数)。一人ひとりに合わせ、声を掛け、援助し、無理なく進めている。
		2019年	75%	25%			必要に応じメニューの準備 サイズをカット 味見する(1口食べてみることは約束)残すことは悪いことではないよう伝えている。食べられる量の加減をしている・苦手なものを1口食べられたことを大いにほめる 無理して食べさせてもあまり効果がないことを周知していきたい・去年に比べて食べさせようとしていない その子に応じた対応をし頑張る気持ちも持てるようにしている
		2020年					
7	子どもが落ち着いて食事を楽しめるように工夫していますか。また、時には様々な場所で食べる等の工夫をしていますか。	2018年	21%	64%	14	0	気の合うこと食べられるように席を自分で選べる。(多数) ランチルームやハッピー給食、おやつなども設けて楽しめるように工夫している(多数) 個々に配慮「いただきます」を丁寧に言うように心がけている。
		2019年	33%	67%			場所はまだまだ変えたことがない・テラスで朝おやつ・食と遊びのスペースを分ける ランチルームで好きな席で食事を行う・異年齢や外でお弁当を食べることを経験
		2020年					
8	季節感のある食材に触れる機会を設けたり、子どもが育てた野菜等を料理して食べることがありますか。。	2018年	29%	57%	14	0	菊の皮むき・枝豆・そら豆取りを経験したり栽培した野菜を給食で調理してもらい食べている 改菜ということもあり栽培が難しかった。股、職員によって熱心な人とそうでない人と活動にムラがある。 昼食の時旬の物が出ると気は名前でも伝えて育てた野菜を収穫し食べる。調理体験をしている(多数) 家庭にも持ち帰り親子で楽しめるようにしている・芋ほりや栽培活動 調理体験・下ごしらえ準備 冬瓜など家庭ではあまり見ない食材に触れられる。・翌日にたべる食材を見たり触れたりする・栽培活動計画
		2019年	75%	25%			
		2020年					
9	食事(離乳食・アレルギー・偏食)病気(健康状態)は、家庭と連携を取りながら、一人一人の子どもの状況に配慮して対応していますか。	2018年	50%	43%	7	0	保護者とアレルギー会議を行なっている。ミーティング確認。提供前の指呼称(多数) 登園時や連絡帳等で保護者に様子を聞き対応している。
		2019年	67%	33%			全職員が周知できるようミーティングで確認したり会議で確認している見食の確認を毎月行っている
		2020年					
10	調理をしている場面を子ども達が見たり、言葉を交わしたり出来るような工夫を行っていますか。また、子どもが配膳や片付け等に参加できるよう配慮していますか。	2018年	50%	36%	14	0	年齢に合わせて当番活動の中で配膳の手伝いを行なっている。4歳児(3歳後半)からお盆を使って自分の給食を運んでいる。ランチルームを設けたことで年齢に応じた対応ができています。 ランチルームより、調理室を見せたり調理の担当の先生が保育室に来たときは仲立ちしている。 ランチルームで幼児はセルフサービス方式・調理室をのぞいたり交流を持てるようにしている 調理に直接おかわりをもらったり片付けは自分でできるようにしている
		2019年	83%	8%	8%		
		2020年					
11	おもしろをした時に、その都度優しく対応し、子どもの心を傷つけないよう配慮していますか。	2018年	57%	43%	0	0	忙しいといきつくなってしまう姿を時々保育士の声を聞いて感じる。 周りの子に気づかれないように素早くシャワーをしている。(多数)
		2019年	75%	25%			排便時も優しく対応していきたい 引き続き意識している
		2020年					

# チェックシート

## \* 生活

	評価基準	記入年	評価項目ごとの評価結果				具体的な取り組み及び考察
			a	b	c	d	
1	オムツ交換時には、優しく声を掛けたり、スキンシップを行っていますか。	2018年	57%	43%	0	0	個別で声をかけ、スキンシップを図っている。流れ作業になりつつある時も見受けられる。イヤイヤ期の時の対応をみがきたい。
		2019年	75%	25%			
		2020年					
2	衣服の脱ぎ着に際して、せかしたり、着せてしまったりしないで、自分でやろうとする子どもの気持ちを大切にしていますか。	2018年	43%	50%	7		子どもの意欲を大切にし、みまもり、そっと手助けを行っている。出来た時には大いに褒めるようにしている。つい手伝ってしまうこともある。 自分たちでできるように見守り声掛けをしている・着替えスペースを確保・パーテーションの活用 子どもが自分から手伝ってというまで見守っている・家庭と衣服の着脱方法を確認する
		2019年	50%	50%			
		2020年					
3	自分の物・他人の物・共同の物の区別に気付き、大切にできるようにしていますか。	2018年	28%	57%	14	0	個人マークをつけ個人のものとは区別できるようにしている。(多数) 丁寧に使うように声をかけている。目で見える形にできると良い。 友だちのものに触れないように声をかけている・保育者が見本となり、乱暴になりそうときは声をかけている・同時に貸して・どうぞという言葉も伝えている 物が溢れすぎている現代子どもたちが大切にすることを育てるのは難しい
		2019年	33%	67%			
		2020年					
4	休息時には、子守唄を歌ったり、背中を軽くたたく等、安心して心地よい眠りにつけるように配慮していますか。	2018年	71%	29%	0	0	子守歌やわらべ歌など安心して眠れるように配慮している。子どもの睡眠状況を把握し対応している わらべうたを歌うなど穏やかな気持ちにしている眠りにつくまで側で安心して眠れるようにしている 個々の状況に応じ対応している。
		2019年	83%	17%			
		2020年					
5	乳児は一人一人の生活リズムに合わせて睡眠をとることが出来るように配慮していますか。また、乳幼児ともに休息時に、眠くない子どもへの配慮をしていますか。	2018年	36%	64%	0	0	眠くない子には無理してせかせさない。仕切りを使ってスペースを確保したり、絵本を用意したりしている。 眠れない子に関しては小さな玩具や絵本で静かに過ごせるようにしている ・個別ノートで就寝時間・起床時間を確認し無理に集団に合わせないようにする
		2019年	58%	42%			
		2020年					

# チェックシート

\* あそび

	評価基準	記入年	評価項目ごとの評価結果				具体的な取り組み及び考察
			a	b	c	d	
1	年齢に合わせて、素材や用具を子ども達が自由に取り出せる場所に置き、遊具の正しい使い方を丁寧に伝えたり、見守ったりしていますか	2018年	36%	57%	7	0	子の状況に合わせて玩具の入れ替えを行っている季節の素材、廃材をじゆうにつかえるようにしていく。 新しく出すものはかならず扱い方を伝えている 玩具の入れ替えを行っている。園庭⇒コンビカーや三輪車などのクラスが使ってよいか一目でわかるとよい。写真を張ってどこに何を片付けるかわかりやすいようにしている 塗り絵・折り紙・はさみなど子どもが自分でとれるようにしている
		2019年	25%	75%			
		2020年					
2	自分のイメージを言葉等で表現したり、皆と一緒に表現する楽しさが味わえるようにしていますか。	2018年	43%	50%	7		リズム、わらべなどたのしめるようにしている。  積極的にわらべやリズムを行いみんなが楽しいと思えるようにしている 手遊びや絵本などを通してみんなで楽しめるように意識している
		2019年	50%	50%			
		2020年				0	
3	五感を感じたり、自然の素材に触れて、楽しむ機会を多く取り入れていますか。	2018年	21%	71%	7	0	戸外に出掛けたり、自然物を利用した製作を楽しめるようにしている。  感触あそびや自然物拾いを行っている 調理体験やリズム・季節に応じて水・砂など自然物に触れられるよう保育に取り入れている
		2019年	42%	58%			
		2020年					
4	好きなことをしてくつろげる空間や子ども達がのびのびと身体を動かせるように時間場所・遊びを確保していますか。	2018年	14%	79%	7	0	時々時間が少ない時がある。時間を工夫してじっくり遊べるようには工夫はしている。 コーナ遊び、リズム運動。仮設ながらに工夫して楽しめるようにしている。
		2019年	50%	50%			
		2020年					
5	玩具・遊具は、必要に応じて、消毒したり衛生面に配慮していますか。	2018年	14%	50%	36	0	消毒が不定期になってしまう。(幼児) 乳児は当番を決めて行っている。布類の消毒も必要と感じる。  曜日などルールを決めることが必要 土曜・午睡時に設けている・なかなか幼児では行えない
		2019年	34%	58%	8%		
		2020年					
6	異年齢の子どもの交流が行われていますか。	2018年	36%	57%	0	0	リズム運動。異年齢散歩、異年齢交流を定期的に行っている。 土曜日も積極的に行うようにしている。  異年齢でわらべリズム年長児のお手伝い受け入れ 自由あそびの空間は3・4・5歳児が同じスペースで遊ぶ、0・1歳児も合同で過ごすことも多い
		2019年	83%	17%			
		2020年					
7	毎日の活動の中で数や量等にふれる機会を作っていますか。	2018年	21%	71%	7	0	当番活動時、意識して行って大切にしている。遊びの中で自然に知ることが出来るようにする。 歯磨き時、秒を数えたりしている。  順番を待つときなど数を数えている 手遊びで取り入れている・トイレや手洗いで数を数えている
		2019年	25%	75%			
		2020年					
8	つまづきや葛藤、けんかななどの経験が成長に欠かせないものにとらえ、適切に対応していますか。	2018年	28%	71%	0	0	保育者は見守って必要時の介入 子ども一人一人の思いを受け止めている・自分たちで解決できるよう見守りながら必要に応じて声をかけはしている
		2019年	50%	50%			
		2020年					
9	子どもが思ったことを友だちや保育者に伝え、相手の思っていることにも気づくように援助していますか。	2018年	43%	50%	7	0	年齢に応じて子どもの思いを代弁したり相手の思いも伝えたりしている
		2019年	58%	42%			
		2020年					
10	子どもが保育者や友だちと一緒に過ごすことを楽しめるような配慮をしていますか。	2018年	43%	57%	0	0	自由あそび時のコーナーづくり 保育室を清潔に保ち玩具も用意している
		2019年	58%	42%			
		2020年					
11	子どもが危険な場所や遊びが分かり、安全に気をつけて行動できるように働きかけていますか。	2018年	36%	57%	7	0	公園の安全点検を行っている・その都度危険なことは伝えている タイヤ等の目印を置く・事前の安全確認・事前に伝えている
		2019年	67%	33%			
		2020年					

# チェックシート

## \*障がい児保育

	評価基準	記入年	評価項目ごとの評価結果				具体的な取り組み及び考察
			a	b	c	d	
1	障がい児保育について保育内容や方法に配慮し、定期的に話し合い見直す機会を設けていますか。	2018年	29%	50%	21	0	個人指導案の作成 療育施設訪問・保育会議での話し合いをし、職員全員で同じ思いで保育できるようにする
		2019年	42%	58%			
		2020年					
2	不安や焦り等の悩みを抱えている保護者の気持ちの援助に心掛け、相談に乗ったり情報を提供していますか。	2018年	36%	36%	28	0	個人ノートで様子を伝えたり朝夕の引き継ぐ時に時間を設けている 区の相談コーナー等の案内・個別に声をかける・保護者が安心して育児ができるよう相談に乗ったりアドバイスをしている
		2019年	50%	50%			
		2020年					
3	障がい児保育に関する研修を受けたり、必要に応じて専門機関などと連携が取れていますか。	2018年	50%	43%	7	0	年に1度の療育訪問・研修参加報告 心配な子は区健康診断時に連絡をし、保健師に見ていただく
		2019年	50%	42%	8%		
		2020年					

# チェックシート

## \* 職員

	評価基準	記入年	評価項目ごとの評価結果				具体的な取り組み及び考察
			a	b	c	d	
1	「保育の主役は子どもである」ことを意識し思いや考えを取り入れた保育をしていますか。	2018年	43%	57%	0	0	クラス会などで確認子どもの発案を積極的に取り入れている。
		2019年	58%	42%			
		2020年					
2	正しい言葉遣いや声の大きさを意識して子どもと話をしていますか。	2018年	22%	64%	14	0	時々大きな声になってしまう
		2019年	42%	58%			
		2020年					
3	「ありがとう」「ごめんなさい」等生活に必要な言葉が自然に使えたり、心のこもった挨拶が交わせるような保育をしていますか。	2018年	43%	57%	0	0	絵本やわらべ歌を通していろいろな挨拶を知る
		2019年	50%	50%			
		2020年					
4	保育者の言動の一つ一つを、子どもはモデルとして学び活動している事を知っていますか。	2018年	64%	36%	0	0	できていないときに仲間を注意できる人間関係ができていればもっと素敵
		2019年	58%	42%			
		2020年					
5	職員間で「報・連・相」ができていますか。	2018年	14%	86%	0	0	必要に応じてメモで渡す。クラス全員揃ったときに話をするミーティングの持ち方変更
		2019年	17%	75%	8%		
		2020年					
6	交通安全の習慣が子どもの身につくような保育に心掛けていますか。	2018年	57%	43%	0	0	楽しみながら自然と交通安全が身につくようにする
		2019年	58%	42%			
		2020年					
7	災害が起きた時や不審者が侵入した時、自分はこの様に対応するか分かっていますか。	2018年	29%	71%	0	0	訓練を通して難しさを感じた。よりよくしていきたい。ここにはわかっているが連携をどうとるかが課題 不審者対応を久しくしておらず心配。対応はわかっているが臨機応変に行えるようにしていきたい
		2019年	8%	92%			
		2020年					
8	保育計画が適切であったか振り返りを行い、改善していますか。	2018年	29%	57%	14	0	全部は無理だが改善を踏まえて次の事項に取り組んでいる
		2019年	42%	58%			
		2020年					
9	新採用職員・後輩に配慮し、温かい人間関係を作るようにしていますか。	2018年	36%	50%	7	7	後輩がいない・心がけているが自分に余裕の際時はなかなか丁寧には行えない できるだけ質問や不安に耳を傾けるようにしている
		2019年	33%	67%			
		2020年					
10	個人情報管理を適切に行い、伝達や相談の際、人に聞かれないよう配慮していますか。	2018年	50%	50%	0	0	個人に関する書類は必ずカギがかかる書庫へ入れている場所を選んでいる
		2019年	25%	75%			
		2020年					
11	「保育所児童保育要録」を学校生活に役立つように記載することを知っていますか。	2018年	50%	43%	7	0	
		2019年	42%	58%			
		2020年					

# チェックシート

\* 職員2

	評価基準	記入年	評価項目ごとの評価結果				具体的な取り組み及び考察
			a	b	c	d	
1	子どもが自然現象の不思議さに気付けるようにし、一緒に調べたり身近な動植物の世話をすることで、生命の尊さに気付くようにしていますか。	2018年	36%	57%	7	0	散歩時の声かけ・図鑑の準備・クラスで生き物を飼っている 子どもの気づき発見を大切にし、共有するよう心掛けている
		2019年	42%	58%			
		2020年					
2	人権に十分配慮すると共に文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てるように配慮していますか。	2018年	43%	57%	0	0	
		2019年	42%	58%			
		2020年					
3	地域と良好な関係を築けるよう挨拶をしたり、行事に誘ったりして、地域の保護者が気軽に保育園を利用できるようにしていますか。	2018年	36%	50%	14	0	出勤時近所の方に挨拶を行う
		2019年	25%	50%	25%		
		2020年					
4	保育者自身が積極的に子どもと関わり遊んでいますか。	2018年	71%	29%	0	0	
		2019年	83%	17%			
		2020年					
5	乳児を寝かせる場合には安全に配慮し、呼吸と体位のチェックを行い記録していますか。又事故予防に努めた保育を行っていますか。(おんぶ・抱っこ・ベビーカー・シャワー・オムツ交換時等)	2018年	57%	43%	0	0	プレスチェック実施。おんぶは複数確認
		2019年	67%	33%			
		2020年					
6	子どもの病気やアレルギーについて、確認・対応を行っていますか。	2018年	50%	43%	7	0	保護者から日々お子さんの健康状態を聞き対応している 子どもの平熱が保育室でもわかるという。
		2019年	67%	33%			
		2020年					



# チェックシート

## \* 保護者支援

	評価基準	記入年	評価項目ごとの評価結果				具体的な取り組み及び考察
			a	b	c	d	
1	「保護者の子育てを支援する」という役割を意識し、成長や子どもを育てる喜びが共有できるよう配慮していますか。	2018年	36%	64%	0	0	個人ノートを活用すると同時に登園の際、子供の成長を確認したりできたことを伝えている 面談などでも子供の成長を確認し喜びあっている
		2019年	50%	50%			
		2020年					
2	連絡帳等で日常の子どもの様子を伝え合ったり、必要に応じて個別に面談を行っていますか。	2018年	43%	50%	7	0	連絡ノートや懇談を通して行っている
		2019年	58%	42%			
		2020年					
3	保護者からの相談内容などを、園長・主任等に相談したり記録し継続的な支援をしていますか。	2018年	43%	43%	14	0	経過記録や日誌の記載・相談を一人で抱え込むのではなく、その都度相談している ・保護者との連絡をこまめに伝えている
		2019年	58%	42%			
		2020年					
4	保護者からの要望に配慮したり、快く対応するよう努めていますか。	2018年	43%	57%	0	0	アンケートを取り次年度につなげている
		2019年	42%	58%			
		2020年					
5	保護者に参加してもらえるような行事については、事前にその趣旨を説明し、理解や協力を要請していますか。	2018年	57%	36%	7	0	クラス懇談や前年度の写真等を活用・保護者がどう思っているのか不安。情報は足りているのか。 お便りの工夫・初めての行事に安心して参加できるよう提示や個別に内容を伝えている
		2019年	67%	33%			
		2020年					
6	園のしおりの内容や保育課程等を理解し保護者へ分かりやすく伝える事が出来ていますか。	2018年	29%	57%	14	0	保育園の約束事など丁寧に伝えている 初めてクラス懇談で話すことができた。
		2019年	25%	75%			
		2020年					

## \*2019年度 総評\*

前年度に比べ評価が上がった項目が多かった。理由の一つとしては前年度の園舎建替え工事より保育環境が改善された点(生活8・10/遊び3・4・11)講師による定期的なわらべ研修や新指針・乳児保育など題材にした園内研修の充実化(生活1・4・6/生活②1/あそび6)が考えられる。保育士一人ひとりの意識向上が見られ、次年度もさらなる向上を目指していきたい。課題としては前年度に引き続き職員間の報連相の数値が低いので今年度はミーティングを工夫してみたがさらなる原因を追究し税員が気持ちよく過ごせるよう努力していきたい。

## \*2020年度 総評\*